



一月の青空の下、庭には

スイセンの花が咲いています



販売促進課長として

パート2

順子さんを私は寿司屋に誘いました。道頓堀のがんこ寿司です。ここは夜中3時頃まで営業していませんので、ゆつくり出来る場所です。私は寿司屋に入ると必ずカウンターに座ることにしていますので、その夜もカウンターに座り「なんでも好きなものを注文して」と順子さんに言っただけで注文して食べましたが、順子さんはお店にいますときと違いおとなしいのです。あまり積極的に注文しないので私が「トロがいい？貝類は？」と催促して初めて「ではトロを下さい」と小さな声、おや緊張しているのかなと思いきこの手の娘達はなれているはずなの

にと思い込みが、順子さんに限っては違っていたようです。「どうしたの？どんだん注文して」と催促して、初めて注文するというパターンが続きましたが彼女が「私、お客さんとうして食事するの初めてなの」と言い私は驚いてしまいました。あんなに店ではチャキチャキしている順子さんはここには居ません。あれは店の中だけの演技だったようです。つとめて明るく振る舞おうとして元気がいっぱい演技をしていました。あまり食べないのだね」「緊張して」「何を緊張しているの、いつもの通りでいいのに」私はふと7年前の洋子のことを思い出していました。あの時も洋子はお寿司をおそろおそろ又美味しい

と嬉しそうに食べていたのを思い出していました。順子さんもどこか田舎から出てきているのかなと思いましたが、あえて聞かないでおこうと思っていました。「ここは、安いのでどんなん食べて」私は私の懐具合を考えて遠慮しているのかと思いきや「言ったらかたまたま」小さな声で板前さんに言っていました。前さんが知らん顔をしてるので私が改めて「板さん、たまごを」「あいよ！」元気のいい声が帰ってきました。ふたりは寿司を食べながら周りを見るとやはり飲み屋さんの帰りのようなお客さんで一杯になっていました。「お店楽しい？」「はい、楽しいですが少しいやなこともあります」「丁寧で答えてくれるので」「いつもの通りでいいよ」と言っただけでしたが、緊張をしているよう

で、私は純情な娘だなという印象を初めて順子さんに持ち、これは大事にしてあげなくてはと心に決めていました。私はそれまで水商売の女性を食事に誘った場合はその後バーに誘うのがいつものコースですが、その日は何故かそのまま帰ることにしました。順子さんのアパートは谷九というところで、南からタクシで15分程度のところなんです。「送るよ」「いえ、自分で帰れますから」お勘定をしながらそんな会話が続き、結局送ることになりました。タクシーがなかなか捕まらない時間でしたが、幸いすぐ止まってくれて二人で乗り込み「谷九まで」と言いましたが私の部屋は南から歩いて帰れるところだったので、わざわざ車に乗ったことになりませんが、なぜか送りたくて一緒に乗り込みました。

1トの前についた時、彼女が「お茶でも飲んでいきませうか」「いや今夜はこれで」私はカッコつけて断っていました。「運転手さんもとに戻って」「南にまたいくのですか」「彼女の部屋までおくらなくていいのですか」余計なことを言う運転手だと思いきや、タクシーのシートに身を沈めながら、送ったかどうかを想像したのかわと不純なことを想像して少し後悔もしている私でした。夜中の2時すぎに部屋に帰ったら、お袋が起きて来て「遅くまで仕事したいんだね」と言われちょっと悪いなあという気持ち「早く寝ろよ、待ってなくていいの」と突っけんどうに言っただけで自分の部屋に、明日は日曜日ゆつくり寝よう彼女はまだ寝たかなあと考えているうちにいつしか寝てしまい、起きたら十時「いつまで寝てるんだ、目が腐ってしまうよ」

とのお袋の声「起きるよ」と言つて顔を洗い朝ごはん。日曜日は何もしなくていつもぼーとしているのですが、明日から四国に8日間の出張ですのでその準備でもするかとカバンを引っ張り出していました。

促進課長は部下が女性の係長と5人の女性社員でその社員は全員教員免許を持っています。

大阪支店の全代理店の販売を促進するわけですが、ようするにどうしたら今まで以上に売上が上がるか？また下がっている代理店があればどこが悪いかを分析して指導して売上アップをして行く所なのです。各課長、所長に指示する場合もあり、そうした意味では支店長に次いででの役割ということになります。

私のアパートは大阪南の繁華街から徒歩5分、大阪の台所と言われている黒門市場から徒歩3分のところにあります。お袋はそこがとても気に入っています。というのもお袋は若い時小料理屋をしていたそうで料理ではプロです。30代で私の父で

ある夫を亡くし、戦後貧乏をしましたが、その貧乏が身に付いていなくて元来明るい人ですので、プロが通う黒門市場は大好きな場所でも喜んで毎日そこで買い物をするのですが、高いのです。料理には糸目をつけられないので私の給料日の翌日などはあんこう鍋やぶぐの料理が出ます。まるで我が家は料亭に変わります。ですから給料日の5日前には毎月お金が足りず、「弘おかねを！」と言つてきますが私は給料取りですので給料以外のお金などあるはずがないのに、そこでも喧嘩です。まあお袋も苦労したので少しは料理を楽しみますが、生活費が毎月足りません。給料の前借りでやりくりです。そんなお袋との生活です。楽しい人ですので私はお金の分は我慢していました。

さて明日から四国出張です。そこで思わない出会いがあり、私の人生の1ページがめくられようとは知る由もなく旅立ちました。……次回でその

出会いとはをお話します。

籠谷 弘



### 歌声喫茶 1月・2月の予定

「洛西」(第1、3木曜日)

1月 5日、19日

2月 2日、16日

### 楽々亭第28回 1月の予定

1月17日(火)

西京区役所洛西支所第2会議室

午前10時~12時



## ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大原野東境谷町1丁目1番地4-701

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。